



石巻とともに

HOTEL
Hot・Inn
ISHINOMAKI

2011年3月11日の東日本大震災。大きな津波は石巻にも押し寄せ甚大な被害をもたらしました。そんな石巻とともに復興の道のりを歩みたいと、2013年6月ホテルホットイン石巻はスタートしました。道をふさいでいたがれきがなくなると、大きな建物や防波堤の工事がスタートしました。震災直後に始まり、今日に至るまで続くさまざまな力たちの支援。ツールド東北やリボンアートフェスティバルなどのイベントではたくさんのお客様をお迎えしました。また、少人数のグループで石巻にやってきては継続的にボランティア活動をされているお客様もいらっしゃいます。震災を機にオープンした私たちホットイン石巻は常に復興してゆく石巻とともにありたいと考えています。

『津波てんでんこ』のこと

震災からしばらくの間、電気の使えない生活を余儀なくされました。半壊の家の茶の間でろうそくをともし、家族でいろいろ話したことの中に『避難』についての約束がありました。『自分の命を守るために、それぞれが最も良い方法ですぐ逃げよう。家族の為にもそれぞれが自分の命は自分が責任を持って守ろう』と。震災を機に、三陸地方に昔から伝わる『津波てんでんこ』『命てんでんこ』という言葉が見直されています。津波が来たらてんでに（ばらばらに）素早く急いで逃げる。それが一人でも多くの方が津波から身を守るというもの。一見すると自分だけ助かればよいの？とか自分で避難することが困難な災害弱者はどうすればいいの？という疑問が出ます。けれども震災で大切な命をなくされた方の多くが、一度避難したにも関わらず、家族を探しにいたり家に戻ったりして津波の犠牲になっています。

『自分が一番助かってほしいと願うその人はきっと無事に逃げている』と信じて、自分の命を自分で守り抜くために素早く逃げる。とても大切な事だと思うのです。ホットイン石巻では定期的に避難誘導訓練を行っています。

お客様とお客様の大切な方のために、『てんでんこ』の避難を的確に誘導いたします。客室に入りましたらインフォメーションで避難経路のご確認をお願い致します。



ホテルホットイン石巻 平面図



ホテルの外へ

客室のインフォメーションに客室ごとの避難経路をご案内しております。
紙面だけではなく実際の経路を歩いてご確認下さい。

ホテルを出ましたら

津波浸水区域外の避難目的地点(双葉町郵便局)までは ホテルから約 450m 徒歩 6分

その先

石巻市総合体育館 (海拔 40m) までは ホテルから約 1.1km 徒歩 15分 です。

状況によって

津波避難ビル (大街道北復興公営住宅) までは ホテルから約 400m 徒歩 5分 です。